

数字で見るカナダの農業(1981年現在)

農地面積

| | |
|-------|---------------|
| 改良地 | 65,888,916 ha |
| 非改良地 | 46,121,591 ha |
| 農業人口 | 19,767,717 ha |
| 農業家数 | 507,000 人 |
| 農産物貿易 | 318,361 戸 |
| 輸出額 | 8,777百万ドル |
| 輸入額 | 5,611百万ドル |

作付面積

| | |
|-----------|---------------|
| 小麦 | 12,452,021 ha |
| からす麦 | 1,541,665 ha |
| 大麦 | 5,456,989 ha |
| とうもろこし(植) | 1,141,720 ha |
| ライ麦 | 443,027 ha |
| ソバ | 67,479 ha |
| 亜麻仁 | 478,791 ha |
| 大豆 | 282,914 ha |

家畜頭数

| | |
|-------|--------------|
| ひまわり | 117,594 ha |
| なたね | 1,404,885 ha |
| からし | 88,147 ha |
| ジャガイモ | 110,369 ha |
| タバコ | 54,373 ha |
| 牧草 | 5,114,477 ha |
| 野菜 | 117,215 ha |

| | |
|-----|--------------|
| 牛 | 13,501,904 頭 |
| 乳牛 | 1,772,350 頭 |
| 肉牛 | 3,517,280 頭 |
| 豚 | 9,875,065 頭 |
| 羊 | 816,712 頭 |
| 馬 | 358,122 頭 |
| 鶏 | 92,717,929 羽 |
| 七面鳥 | 8,704,573 羽 |

肉牛は主として、東部の消費地へ出荷される。

品種改良が、制度として全国的に整備されているのは、カナダ畜産業の大きな特徴だが、この地方の畜産は、連邦政府と州政府が共同して実施する「後代検定制」(Record of Performance ≡ ROP)

平原地方の農業で、穀物に次いで重要なのが、畜産である。カナダの肉牛の四分の三が、この地方で飼育されており、とくにロッキーマウンテンなどの周辺地では、土地の最も有効な利用法として牧畜が営まれている。

また、日本と関係の深い特殊な穀物として、玄ソバの存在を忘れることはできない。玄ソバは主として平原諸州で作られ、ほとんどが外国、とくに日本に輸出されている。

亜麻仁に関しては、カナダは生産量、輸出量とも世界一を誇っている。年間生産量の三分の二以上が輸出向けである。亜麻仁油は主として工業原料に使われるが、搾りかすも高タンパク質の家畜飼料として重要である。

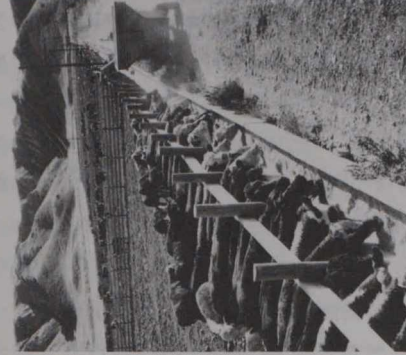
おけるなたね作付面積の九割を占めるまでになっている。

中央カナダ 酪農から食品加工まで

総人口の三分の二を占めるオンタリオ州とケベック州は、平原地方に次ぐカナダ第二の農業地帯である。五大湖やセント・ローレンス川のおかげで、気候は温順。

カナダの牛乳の七五パーセントは、この二州で生産されている。両州の乳牛は搾乳用だけでなく、子牛や加工肉の供給源になり、国内の食肉供給量の二五パーセントを担っている。とくに雄の子牛は、

ほか、霜害、干ばつの影響が大きく、また収穫期や販売時期が短いため、果樹や野菜類の生産はごく少ない。



カナダは畜産・酪農でも世界有数だ。

によって、高い生産性を達成している。この制度は、全国の家畜(肉牛、乳牛、豚)について、繁殖力などのデータをコンピュータで集計処理し、多産、優良な種牡牛や雌牛を見つけようというシステムである。

平原諸州では、栽培可能な時期が短い

乳製品は従来からスキム・ミルク・パウダーなどの輸出がさかんだったが、最近、カナダ産の高級ナチュラルチーズも海外で注目された。

オンタリオ、ケベック両州

食肉用として今後ますます重要性を増すものと思われる。平均的な酪農場は広さ五十一百ヘクタール、乳牛三十一六十頭、それにほぼ同数の若牛がいる。乳牛はホルスタインが八割で主流を占め、ほかにジャージー、ガーンジー、エアシャーがこれに混じる。

カナダ政府は、昨年、西暦二〇〇〇年までの農業の基本戦略を打ち出した。戦略の骨子は次の通り。

カナダの農業および食品産業は、長期的に見て明るい将来が期待できる。生産高は二〇〇〇年までに七割近く伸びる可能性がある。

ただし、この可能性を実現するためには、とくに次の諸点に努力を傾注す

農政の長期基本戦略

る必要がある。①カナダ農業の潜在的生産力の強化(耕地の維持改良、短期間に収穫できる多収性品種の開発、夏の休耕面積を減らすこと) ②研究開発の促進(省エネルギー農法、農業生産の効率化、食品加工法の改良) ③国内市場と海外市場の開発。

これらの目標のうち、生産力強化と研究開発の促進は、すでに各所ですすめられており、市場開発についても、カナダ農業輸出公社(CANAGREX)設立の立法化が進行中である。

では、アルバータ州とともに養豚がさかんである。主な品種はヨークシャー、ランドレイス、カナダ産のラコム、それにハンブシャー、デューロックなど。養豚は、農家の多角経営の一環として比較的小規模に行われているのが多い。

豚肉の輸出は、ごく最近まで輸入を上回っていた。肉質がしまり、味も良いことから、米国で大いに歓迎され、最近日本への輸出も急増している。

カナダ産豚肉の品質が、内外で高い信頼性を得ている理由のひとつに、食肉格付け法による厳格な格付け制度がある。とくに豚肉の格付け制度は世界に冠たるものといわれ、全国の豚の九九パーセントをカバーしている。格付け方法は、目測評価ではなく、豚枝肉の



じゃがいもの収穫も機械で。